

磐城時報

編輯 磐城石城郡平町新屋町十四
印刷 磐城石城郡平町新屋町十四
發行 磐城石城郡平町新屋町十四
電話 磐城石城郡平町新屋町十四
廣告料 一月十元 三月三十元 半年六十元 一年一百元
印刷 磐城石城郡平町新屋町十四
電話 磐城石城郡平町新屋町十四
廣告料 一月十元 三月三十元 半年六十元 一年一百元

ベストメンバーを整え 参加校猛練習

白熱的歓迎をうけつゝ 本中等野球近づく

本社主催第三回縣下中等學校野
球大會は第一日目の組合せが既
に決定し、平商業學校對、田村
中學校、安積中學校、相馬中
の兩組共白熱的大接戦を豫想
されてゐる、参加各中學のメン
バー左の如く各校共猛烈な練習
を續けてゐる。

(積)	橋前青新 鈴江冬神 武大佐
(田)	本川山田 木尻泉 田藤越 藤
(村)	大布大吉 渡朝下 戸小
(警)	平谷平田 邊妻田 田野
(中)	弟(兄)
(馬)	赤森草 佐星 菅松 渡沼
(相)	藤藤川 田田 藤藤井 口木
(遠)	遠藤 荒原 増佐 牛 大 矢 横 柵
(投)	投捕(一三遊) 左(中右) 補
(業)	今大渡 新猪 龜半 光 脇
(雙)	村谷 邊妻 村田 谷 家 澤

理髮組合紛擾の 調停不調に終る

愈々比佐組合長彈劾の 臨時總會開催

平警察署管内理髮組合に於ける
比佐組合長彈劾に起因する紛擾
は益々激しくなり圓滿な解決は
到底見えない状態となつたが
田管内組合長相良千之助、四倉
同猪狩正雄、東部副組合長相良
皆吉の三氏は此の紛擾の成行を
之を拒絶したので三名の調停者

撞球大會

平町田町ビリアード一の井では
十四日午前十一時から撞球競技
大會を開催するが、権利十本、
畫食付會費五十錢、本競技の外
カッパ戰、猛者戰等がある。

講演と座談會

平十三日會例會は十三日午後七
時から四丁目マルトモビルに開
き辯護士大峯康氏の破産の概念
と題する講演がある、終つて大
峯氏を中心とし破産に關する座
談會がある。

道路改修

磐崎村小野田炭礦より同村梅ヶ
平第一小學校に通ずる村道約三
百間は屢々豪雨で欠損甚だしく
小學児童通行に少なからぬ危険を
感ずるので父兄等は村當局に再
三改修方を陳情したが財政逼迫
を理由に一向埒があかぬのに業
を煮やし十日父兄並に児童等二
百名でこれが改修を行つた。

水満載の自動車

豊間で子供を轢く

平町田町野崎自動車部運轉手伊
達那長岡村生れ吉田源之助(五)
はシボレーA型一二七八號貨物
自動車に水を滿載し平町から豊
間村大字豊間に向ふ途中沼の内
地内道上で遊戯中の幸重の四男
鈴木愛藏(九)を轢き倒し重傷
を負はせたので高久村鈴木醫院
で手當中である、運轉手は該自
動車には無免許であつた。

石城將棋大會

平棋友會主催石城將棋大會は十
七日午前九時から平町五丁目吉
田屋料理店に開催、會費五十錢
一等から五等まで賞品を興へる。

日用品價格

平町
▲白米上一キロ十四錢、同中十
三錢五厘、同下十二錢五厘、
▲味噌一貫匁六十錢、醬油一
升三十錢、▲清酒九十錢、▲
木炭檜十六錢、▲豚肉上四匁
四十錢、並二十五錢、▲牛上四
十錢、並二十五錢、▲砂糖百
匁十二錢、同赤十錢、同黒十
錢

坑夫と駈落

郡勿來町大字出藏勿來炭坑佐藤
惣重郎内妻紺野きく(二八)は去
る六日十一歳の小供と夫を捨て
坑夫に拂ふべき三百圓を持って
同坑々夫中島龜三郎(三〇)と行
衛を晦ました。

手提金庫拾得

田町富田直彦(一〇)同才道小路
青木榮(九)の兩少年が九日同町
稻荷山トンネル附近で遊戯中銀
カシメ、メダル等入つてゐる手
提金庫を拾得平署に届出した。

踏切警報器取付

平保線區では平町古銀治町外二
個所の踏切に近く自動警報器を
取付ける。

縣下中等學校野球大會 初日組合せ決定

▲六月二十日(土)正午入場式
▲同午後零時半第一回戰

平商業學校	田村中學校
相馬中學校	安積中學校

▲二十日午後七時二日目組合抽籤で決定
▲第二日目 午前八時開始
▲會場 磐城中學校球場
▲試合方法 第二回戰七回ゲーム
▲第一回戰 九回ゲーム
▲試合球 大阪丸善運動具店オールジャ
パンリーグボール
▲選手宿舎 住吉屋本店

外遊だより

第一信 ロンドンにて 高木武雄

議會では印度關係の豫算案に
關して印度に輸出する綿布の
數額が一年は戦前の半分に
落ち、今年に入つてからで
も今日迄の傾向に徴するに昨
年の半分に減退するだらう、
今年の正月には日本品と英國
品と比較すると三對二の率で
日本品の方が羽張りを利かし
てゐると論ぜられて居りま
す。たしかに英國に取つては大開
題でせう。
先人の余澤を受けて植民地相
手のポロ利益を獨占して繁
昌して來た英國、先人の蓄積
した富はロンドンの土には黄
金かしみ込んで居ると譬へら
れる程であつても今は植民地
は隨意に安價な國から物資を
輸入し又安價な資本を輸送して
は自給自足を努めます、印
度人が日本の綿布を輸入しや
うとも、米國の資本を取り入
れて印度内で紡績工場を始め
やうとも本國政府の力では抑
へることは六ヶ敷いでせう。
それに關せず英本國では毎週
十圓の失業手當を受けて海外
から輸入する肉をたへ高い煙
草をふかし乍ら、安い賃金な
ら御免蒙りますと高くこまつ
て居る失業者が大した數です
失業救済資金が年額驚く勿れ
たつた九億圓です、それで遊
んで居る人はうよくして居て
も人不足になつて居ます。女

主 磐城時報社

小名濱の泥棒

石城郡小名濱町古港伊藤昇太郎(二九)は九日夕刻石城郡玉川村大字野田新妻清助方から腕時計を窃取したので平署に捕はれたが同人は千葉縣方面で數十件の窃盗を働いた事發覺した。

ハガキ集

(投書歓迎)

▲去んぬる四、五日の兩日全縣下校長會が小名濱町に開催したる五日の夜、同級會など種々名題目の下に視學樣田村某外一名と數名の校長樣の御會合なれば定めの意義ある名會合にして此の複雑多岐混沌たる社會相に脚下の塩屋崎燈臺の放射する光り迄には參らすとも定めし名譽光を放つことならんと思へきや、そは何ぞ處もあらうに學問の里は大學學問の某料亭に陣取同家の酌婦全員五名は勿論の事平町の某方面より、いり抜の藝妓六名を召集し飲や唄ひの底抜け賑々吾々田吾作共でも六月前には躍り唄はぬ盆唄やヂャンガラ躍りて飲むも飲んだり躍るも躍つたり明る午前の三時とは、而して一人前の會費金十數圓とは又ドイライ事よ、吾々百姓は農は國の本なりと常に讚美されつ汗水流して働いても二人の報酬はわずかに金五十錢也と言ふ偉い方々の生活は又異つたものには恐れ入りました、斯様な緊縮生活をするのが今日の月給取り様であるからして宵越の御酒も氣分も醒めやらぬ翌三日は全縣下の先生様を平町の一堂に會し二日掛りの大議題として練たり大題目は「小名濱の校長會」は「全額國庫支給」を政府様に向つて督促は、先生方々のおやりになる仕事には全く損も御在しませぬ、朝は日の出ぬうちより夕刻は日先の見ゆなくなる迄働いて納

小學生用 防排水マシ

雨の近い六月の空

お子供様の方々の御通學の日に必ずにハルツをトシマ防水別良純の質ムゴ立仕な全完命生いに倍三の品製通普

ムゴ面片	
錢十四圓一	尺二
錢十六圓一	寸二尺二
錢十八圓一	寸四尺二
ムゴ中	
圓二	尺二
錢十三圓二	寸二尺二
錢十五圓二	寸四尺二

ハルツ
〇四一電 四平

佛國マルソー會社元詰
生葡萄酒
マルソー・フランク・白 ¥1.10
マルソー・ルージュ・赤
良品にして安價發行飛ぶが如し
西村屋藥局

處へ行にも其の路費さへも無く見る影もない姿となつて居ります併し私等は夕食後三時間に仁井田浦海岸に行き彼の太平洋の青海原を眺めは我身の果敢無きを悲み心ゆくばかり泣いて人知れず歸る哀れな女性ですから十一日の新聞の様な事を云はないで却て同情して載きたい位です (一女上り)

近日公開



大河合映畫
コロムビア
レコードコンサート
會田時計店
高砂映畫社

於聚樂館

君はい、型の洋服を求められたね。跳だね？いや君コレは四丁目マルトモビル車場通で販賣中のソレ正札堂さ



四丁目マルトモビル正札堂

醫院開業

専門 婦産科 花柳病科
入院應需
午前宅診 午後往診

井坂醫院
平町田町(舊合津醫院跡)
電話五五九番

二葉印刷所
平町仲町・電話一九三番

毒核 腸胃
皮膚病 淋病 梅毒 腸胃病 胃腸病
院醫科 院醫科
(七〇一電話)

カクテール
イモクヒラデン352
レストラン サロン

夏の通學服
小學生用... ¥.45
同(特製品)... ¥1.00
中學生用... ¥2.00
あかや洋服店 平二 電203

辯護士開業御挨拶
武田清次郎
電話六三九番

耳鼻咽喉科 專
氣管食道科 門
大和田醫院
電話一七〇番

印刷物は... 加納活版所